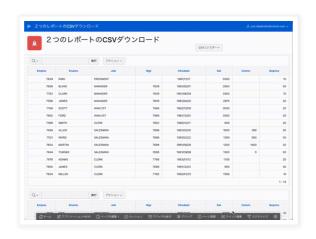
日日是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年9月9日木曜日

CSVをつなげて1つのファイルとしてダウンロードする

1ページに対話モード・レポートを2つ作り、両方を1つのCSVファイルとしてダウンロードしてみます。元にした実装は、Ajaxコールバックを使ったCSVのダウンロードです。

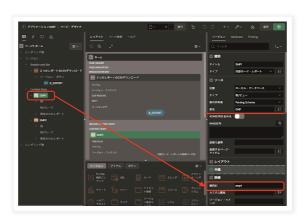


以下、実装手順になります。

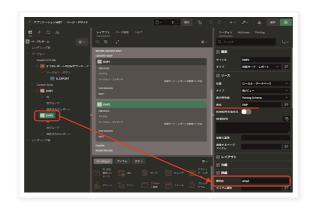
サンプル・データセットのEMP/DEPTがインストール済みとします。それに含まれる表EMPを対話 モード・レポートのソースとします。

最初に空のアプリケーションを作成します。アプリケーションが作成されたら、ホーム・ページに対話モード・レポートを2つ作成します。

最初の対話モード・レポートの静的IDとして、emp1を設定します。



次の対話モード・レポートの静的IDは、emp2とします。



Ajaxコールバックとして、プロセス**CSVEXPORT**を作成します。PL/SQLコードとして以下を記述します。

```
declare
    l_ctx_emp1 apex_exec.t_context;
    l_ctx_emp2 apex_exec.t_context;
    l_rid_emp1 number;
    l_rid_emp2 number;
    l_exp_emp1 apex_data_export.t_export;
    l_exp_emp2 apex_data_export.t_export;
begin
    -- Generate CSV of IR region emp1
   select region_id into l_rid_emp1 from apex_application_page_regions
   where application_id = :APP_ID and page_id = 1.
     and static_id = 'emp1';
   apex_debug.info('region_id of emp1 is ' || l_rid_emp1);
    l_ctx_emp1 := apex_region.open_query_context (
                        p_page_id => 1,
                        p_region_id => l_rid_emp1 );
    l_exp_emp1 := apex_data_export.export (
       p_context => l_ctx_emp1,
       p_format => apex_data_export.c_format_csv,
       p_file_name => 'emp1' );
    apex_exec.close(l_ctx_emp1);
   -- Generate CSV of IR region emp1
   select region_id into l_rid_emp2 from apex_application_page_regions
   where application_id = :APP_ID and page_id = 1
     and static_id = 'emp2';
    apex_debug.info('region_id of emp2 is ' || l_rid_emp2);
    l_ctx_emp2 := apex_region.open_query_context (
                        p_page_id => 1,
                        p_region_id => l_rid_emp2 );
    l_exp_emp2 := apex_data_export.export (
       p_context => l_ctx_emp2,
                   => apex_data_export.c_format_csv,
       p_format
       p_file_name => 'emp2' );
   apex_exec.close(l_ctx_emp2);
   -- merge BLOB output into 1
    dbms_lob.append(l_exp_emp1.content_blob, l_exp_emp2.content_blob);
    -- download as a single file.
   apex_data_export.download( p_export => l_exp_emp1 );
end:
```

対話モード・レポートに設定されている検索条件でSQL問合せ行うコンテキストを apex_region.open_query_contextを呼び出して取得します。その問合せからCSVのデータを

apex_data_export.exportを呼び出して生成します。

l_exp_emp1には対話モード・レポートemp1のデータ、l_exp_emp2には対話モード・レポート emp2のデータが保持されています。dbms_lob.appendを呼び出して、l_exp_emp2の出力を l_exp_emp1に追記したのち、apex_data_export.downloadを呼び出して、ファイルとして l_exp_emp1の内容を出力しています。

画面上にAjaxコールバックCSVEXPORTを呼び出すボタンを追加します。

ブレッドクラムのリージョンで**ボタンの作成**を実行します。**識別のボタン名**を**B_EXPORT、ラベル**を**CSVエクスポート**とします。**動作のアクション**として、この**アプリケーションのページにリダイレクト**を選択します。



ターゲットのページには&APP_PAGE_ID. (今回の例では1に置き換わります)、**詳細**のリクエストとして、APPLICATION_PROCESS=CSVEXPORTを設定します。



以上でアプリケーションは完成です。アプリケーションを実行すると、最初のGIF動画の動作を確認できます。

以下に作成したアプリケーションのエクスポートを置きました。 https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/combinedcsvexport.sql

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

〈 ホーム

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。 こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.